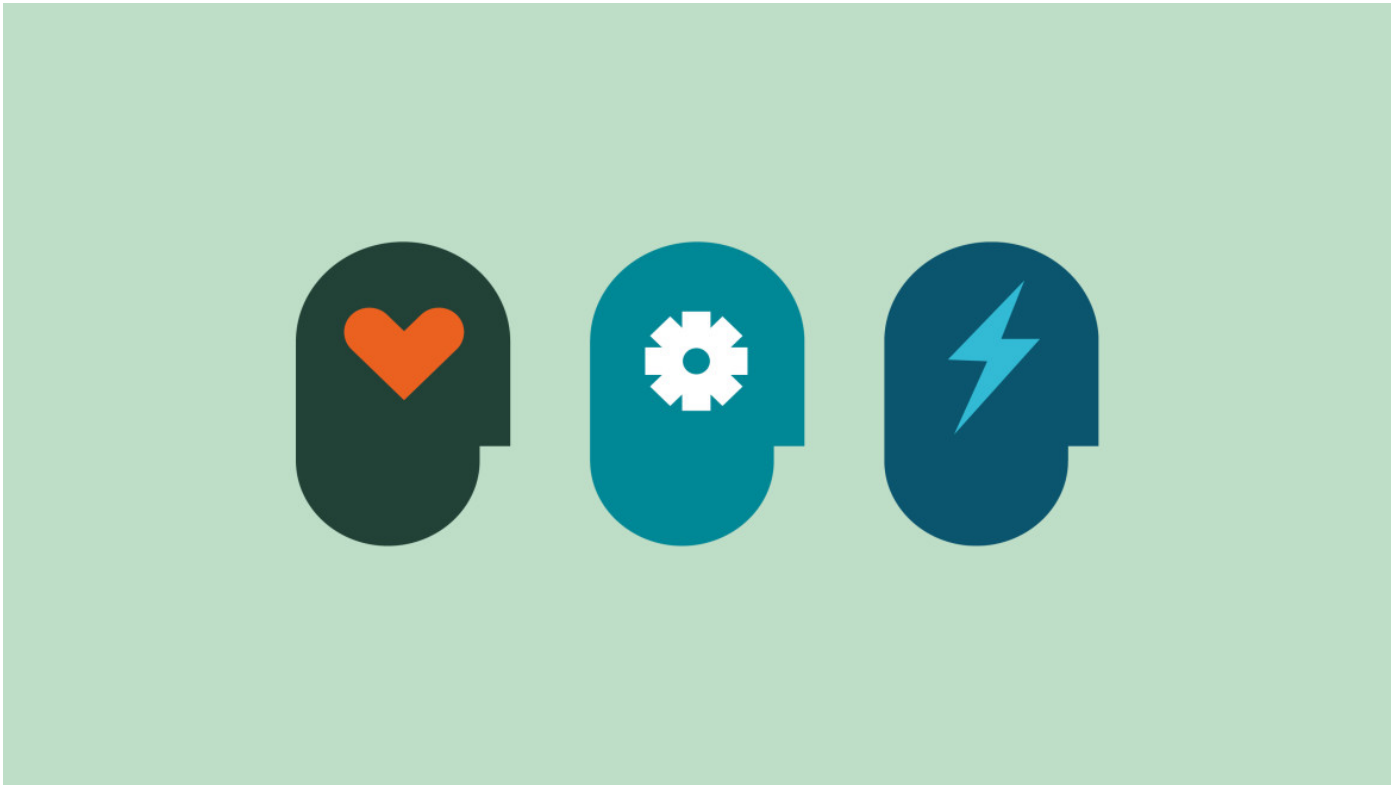
トレンド 360

人間 + マシン + 創造性

Read 4分

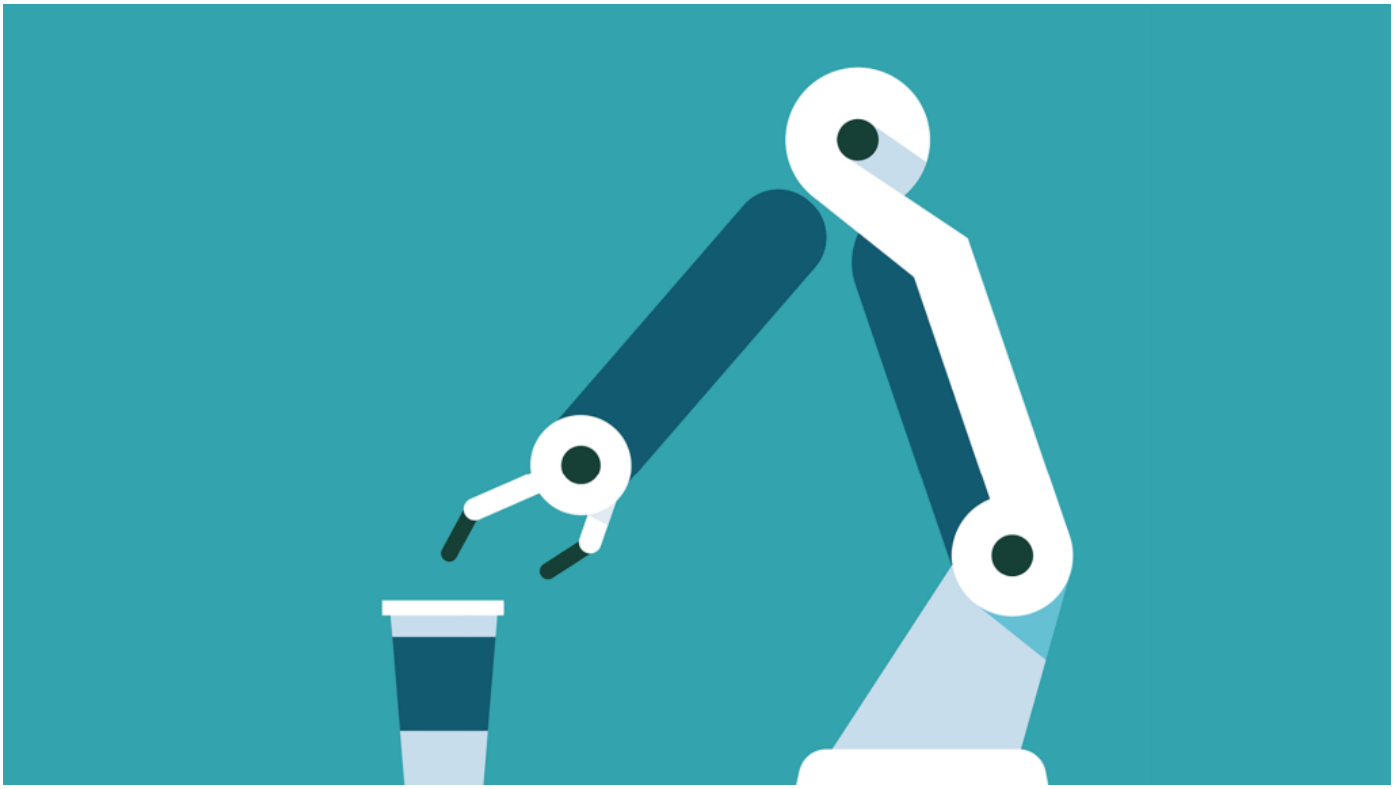


ロボット、人工知能（AI）、自動化の進展によって、多くの仕事が変わろうとしている。将来、現存の職業のいくつかが消えることは避けられないが、歴史を振り返れば、その多くが社会に良い変化をもたらしていることも事実だ。

ロボット、人工知能(AI)、自動化の進展によって、多くの仕事が変わろうとしている。将来、現存の職業のいくつかが消えることは避けられないが、歴史を振り返れば、その多くが社会に良い変化をもたらしていることも事実だ。1982年から2012年の間、コンピュータが普及し、仕事のスピードが速くなった。自動化によって、単純な反復的作業はマシンにとって代わられ、人間はマシンではできないもの、つまり創造型ワークが主軸となるだろう。未来は、複雑な問題を解決し、新たな人間関係を構築し、誰でもが創造力を最大限に発揮しながら、アイデアを生み出すことになるだろう。未来は創造性に満ち溢れている。

テクノロジー：希望、それとも絶望？

52% 世界の労働市場において、現在のテクノロジーによって自動化されると思われる仕事



42%	今後18年以内にフランスでデジタル化によって変化すると予想される仕事
5%	すべての職業の中で、完全に自動化するであろう確率は5%未満

今後15年間で自動化によって影響を受ける職業の地域別割合2

[show-rjqc id=”18″]

企業リーダーの視点



77%	能力不足が企業の成長を阻害するだろうと懸念する企業のCEO
61%	自分の会社は創造的体質であるとは思っていないリーダー。
52%	今後の人材登用にあたり、最も重要と考える職務遂行能力はマシンによって代替できないものであると考える企業のCEO。

「創造性」に対する意識の違い

42%	会社はこなした仕事の量によって生産性を測定していると答えたワーカー
34%	会社はアイデアがいかに創造的であるかによって生産性を測定していると答えたワーカー



77%	将来、創造性が重要な職務遂行能力の一つになるだろうと信じるワーカー
65%	創造性への期待に応えていないワーカー
40%	自分の会社の企業文化が創造性を奨励していると答えたワーカー

2020年までに、現在必要な職務遂行能力の3分の1以上が、現在は求められていない能力になるだろう。

65% 現在就学中の子供の65%は、将来、現存しない仕事に就くであろう。

出典: (1) McKinsey Global Institute analysis (2) UK Economic Outlook, PwC, 201Think Act, Les Classes (3) Moy- ennes Face à La Transformation Digitale, Roland Berge Strategy Consultants, 2014, (4) 20th CEO Survey, PwC, 2017, (5) Adobe State of Create 2016 (6) 20th CEO Survey, PwC, 2017 (7) 20th CEO Survey, PwC, 2017, Sources: (8) Steelcase Creativity and the Future of Work Survey, 2017 (9) Adobe State of Create 2016 (10) Steelcase Creativity and the Future of Work Survey, 2017, (11) The Future of Work Report, World Economic Forum, 2017, (12) McKinsey Global Institute Analysis